

アフリカにおけるマメ類・イモ類の生産性向上 のための研究開発 [拡充]

【55（53）百万円】

対策のポイント

アフリカで伝統的食料及び換金作物として重要なマメ類及びイモ類の生産性の向上・栄養改善を目指した研究開発及びその成果の普及を支援します。

<背景/課題>

- ・アフリカの食料・栄養不足の改善及び、農家・加工業者・消費者の生活水準の向上のため、伝統的な食料であり、栄養摂取源及び換金作物として重要なマメ類・イモ類の生産性向上が求められています。
- ・アフリカにおけるマメ類・イモ類の生産については、気候や土壌等の恵まれない栽培条件に加え、研究の遅れや情報不足のため、低い生産性となっています。
- ・マメ科のササゲについては、高収量・高付加価値ササゲの育種及び栽培期間を短縮することで干ばつリスクを回避できる早熟する新品種の早期普及、また、ヤムイモについては、その特性を活用した栄養改善・高付加価値化に向けた利用技術の開発及び、土壌等の栽培条件に適応した増産技術を開発・普及することにより、これら作物の生産性を向上することが求められています。

政策目標

- 対象地域において、ササゲの生産性が3割向上（平成29年度）
- 栄養改善・高付加価値化に適したヤムイモの増産技術の生産現場への普及と併せ、対象地域において生産性を4割向上（平成32年度）

<主な内容>

1. 高付加価値ササゲ品種の開発とその種子の生産システムによる普及の迅速化と有効性検証—大規模普及スキームの開発— 28（32）百万円

(1) 高収量・高付加価値ササゲの育種

ササゲのマーケットニーズを把握し、農家の現金収入増加のための高付加価値化ササゲの育種を行います。

(2) 優良種子生産システムの開発・実証

育成された新品種を普及するため、小規模地域で確立された優良種子生産・流通システムをより広い地域で適用可能なシステムに発展させるためのスキームを開発し、実証・評価します。

〔 拠出先：国際熱帯農業研究所（IITA）
事業実施期間：平成25年度～平成29年度 〕

2. イモ類の増産技術の普及と生産物の高付加価値化 [新規] 27（0）百万円

(1) 生産物の高付加価値化、高栄養価化

ヤムイモの加工特性、栄養素、機能成分を明らかにし、データベース化を行います。また、民間セクターとの連携により市場指向型の利用技術を開発します。

(2) 我が国の拠出金事業により開発されたイモ類増産技術の普及のための技術開発

ヤムイモの増産技術を各地の生産現場に適用するための実証試験を行います。また、増産技術を農家へ普及するシステムを構築します。

〔 拠出先：国際熱帯農業研究所（IITA）
事業実施期間：平成28年度～平成32年度 〕

お問い合わせ先：

大臣官房国際部海外投資・協力グループ (03-3502-5913)
農林水産技術会議事務局国際研究官 (03-3502-7466)

アフリカにおけるマメ類・イモ類の生産性向上のための研究開発【拡充】

アフリカの食文化に根ざした作物



ササゲ



ヤムイモ

西欧では「作物」との認識ない



ソウル
フード

研究や支援の
対象とされない
「孤児作物」

我が国は「コメ」の支援
(アフリカライス)を行って
きているが、西アフリカ
の食文化に根ざした作物
(ソウルフード)を支援
することも重要

我が国の技術による生産性向上

我が国には同様の作物が存在



ササゲ

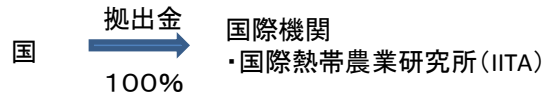
- ・アフリカ原産
- ・育種技術有



ダイジョ(ヤムイモ
の一種)

- ・沖縄で生産
- ・栽培技術有

資金の流れ



ササゲの品種改良のための研究開発・普及(国際熱帯農業研究所)

高収量・
高付加価値ササゲの育種

ササゲのマーケットニーズを把握し、農家の現金収入増加のための高付加価値化ササゲの育種



市場のニーズ

優良種子生産システムの拡大
(2011年ブルキナファソ国大統領賞を受賞)

新品種の普及を支援するため、新たに東北部(年間降水量300-500mm)や南西部(年間降水量1500mm程度)を対象地域に加え、本システムの適用地域を拡大
サヘルからサバンナまでをカバー



次なる大統領賞を!

イモ類の増産技術の普及と生産物の高付加価値化

(国際熱帯農業研究所)

生産物の高付加価値化、高栄養化のための研究開発

ヤムイモ増産技術普及のための技術開発



- ・ヤムの有する栄養素、機能成分、加工特性の評価・データベース化
- ・民間セクター等との連携による用化
- ・増産技術を各地の生産現場に適用するための実証試験、普及システムの構築



期待される効果

- 対象地域におけるササゲの生産性の3割向上、栄養改善・高付加価値化に適したヤムイモの増産技術の生産現場への普及と併せ、対象地域においてヤムの生産性を4割向上
- アフリカの食料・栄養不足の改善、農家・加工業者・消費者の生活水準の向上
→我が国の食料安全保障の確保